

# しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171  
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



中学生模擬議会を開催

## 9月定例会のあらし 10月臨時会

詳細については14ページ

9月定例会は9月3日から25日間の会期で開催されました。  
町長より議案13件、議員より発議案3件が提出され、審議した結果議案13件、発議案1件がそれぞれ原案のとおり可決されました。一般質問は9名の議員が、2日間にわたり行いました。  
また、臨時会が10月29日に招集され、提出された議案は原案のとおり可決されました。



9月定例会  
10月臨時会

平成25年度各会計補正予算などを可決・・・P2~P3

平成24年度各会計決算を認定・・・P4~P5

町政を問う 議員9名が一般質問・・・P7~P12

酒々井町景観基本条例を制定

一般会計補正予算など13議案可決



酒々井町マスコミキャラクター「井戸っこ(しすいちゃん)」のモニタリングセンターを酒々井プレミアム・アウトレット内にある酒々井コミュニケーションセンターに設置しました。

平成25年9月議会で可決された議案は次のとおりです。

◆酒々井町景観基本条例の制定について

良好な景観は、町の活性化や観光振興などに大いに寄与するとともに、町のブランド力を高める魅力づくりを進め、また訪れてみたい、住んでみたいと思えるまちづくりに繋がることから、行政のみならず、住民や事業者等も含めた良好な景観形成への認識を高めていく必要がありますので、本条例を制定するものです。

◆酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、町税に準じて定めている介護保険料の延滞金の割合を引き下げるとの特例措置を見直す必要があることから、本条例の一部を改正するものです。

◆酒々井町後期高齢者医療条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、町税に準じて定めている後期高齢

者医療に係る保険料の延滞金の割合を引き下げる特例措置を見直す必要があることから、本条例の一部を改正し施行するものです。

◆酒々井町文化財保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について

当町の地域資源である歴史文化財を保全し、今後のまちづくりに寄与するために、地域文化財の登録制度を導入し、現行の文化財指定制度などと併せて運用することにより、きめ細かな文化財保護を行うことを目的に、条例の一部を改正するものです。

一般会計

◆一般会計補正予算(第2号)

補正の主な内容は、議会議員補欠選挙の執行経費、防災訓練

に関する経費、自主防災組織への補助金、特産品創出活用推進協働事業費、住宅用太陽光発電設備導入促進事業補助金、住宅用省エネルギー設備導入促進事業補助金の創設、道路維持費、街区公園管理費、各小中学校における修繕工事等の増額です。

特別会計

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では前期高齢者交付金の減額及び繰越金を増額し、歳出では総務費、後期高齢者支援金等及び諸支出金を増額するものです。

◆下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では繰入金及び繰越金を、歳出では総務費及び下水道事業費を増額するものです。

◆介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では繰越金を増額し、歳出では基金積立金、償還金、一般会計繰出金を増額するものです。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳入では繰越金を増額し、歳出では納付金と諸支出金を増額するものです。

◆水道事業会計補正予算(第2号)

補正の内容は、収益的支出を減額し、資本的支出を増額するものです。

◆工事請負契約の締結について  
町道01・011号線道路改良

工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、関東機工建設株式会社が落札し、同社と仮契約を行ったので、議会の議決を求めるものです。

【報告】

◇一般会計予算継続費精算報告書について

平成23年度から平成24年度までの継続事業として実施した「地域防災計画修正業務」が終了したので報告するものです。

◇財政健全化判断比率及び資金不足比率について

一般会計を対象とした「実質赤字比率」と公営企業会計を含む全会計を対象とした「連結実質赤字比率」については、いずれも赤字額は無く該当しません。

また、借入金の負担の程度を示す「実質公債費比率」は3.6%に低下し、将来負担しなればならない「将来負担比率」は非該当となり、いずれも早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあります。

さらに、「資金不足比率」についても、赤字比率同様に資金不足額がないため該当しません。

議員発議によるもの

◇酒々井町のまちづくりに関する意見書の提出について

町長より3件の行政報告がありました。(要旨)

酒々井まちづくり研究所の事業について

町民が主体的に地域課題解決、地域活性化のまちづくり政策などを考え実践する住民活動の研究拠点として「酒々井まちづくり研究所」を6月25日に中央公民館内に設置しました。所長には、聖徳大学名誉教授、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事長、酒々井町青樹堂・青樹堂師範塾総長である福留強先生に就任いただきました。

当面の事業として、酒々井まちづくり研究会の定例会、研究所オープニング・フォーラムの企画実施、町内外団体との交流事業、町の生涯学習関係行事等への協力などが検討されています。

また、酒々井まちづくり研究所のオープニング・フォーラムとして、全国の創年とまちづくりの事例などを中心に学ぶ場として今後の研究所の構想や活動のあり方を探る機会などとして「(仮称)輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を12月8日に開催する予定です。今後も町民が自ら学び自ら考え、実践できる住民活動の場を創出し、第5次総合計画のもと高齢化時代にあっても、将来に希望の持てる持続可能なまちづくり、住民自治の実現に努めてまいります。

「酒々井南部地区のまちづくりについて」  
4月10日に開通した酒々井インターチェンジの通行量は、4月19日の「酒々井プレミアム・アウトレット」開業から5月6日の「ゴールデンウィーク終了までの間」に19万8千台、1日当たりに換算しますと約1万1千台の通行がありました。その後の状況としては、開通から7月末(113日)までの間では約78万8千台、1日当たり約6千9百台の通行があったとネクスコ東日本から聞いております。

酒々井南部地区のまちづくりについて

「酒々井プレミアム・アウトレット」の来場者はオープンから6日までの18日間で約87万人、1日当たり約4万8千人が訪れましたが、その後オープンから

7月末までの約4か月間(104日)までの間で約265万人、1日当たり約2万5千5百人という状況です。その内京成・JR酒々井駅利用者、開業当初、無料送迎バスの運行もあり、総来場者の約6.7パーセントの約5万8千人でしたが、7月末までの状況では、約5.3パーセントの約14万人であったと聞いております。

交通渋滞については、お盆休みで多少渋滞が発生したものの、平日では交通渋滞は発生していない状況です。

「酒々井コミュニティセンター」の来場者は、開業から5月6日のゴールデンウィーク終了までに1万6千13人(約810人/日)の来場者がありました。また、開業から7月末の間では約4万1千751人(約400人/日)の来場者が訪れ、町内の特産品・観光スポット、飲食店などの問い合わせが数多くありました。

町内への誘客の状況では、飲食店についてはお客様が増えていくとの声が聞こえてきており、商工会によりますと、飲食

店や小売業の一部店舗で売上が増加しているとのことです。特に町が管理しています「しすいハーブガーデン」の来園者数は、開業からゴールデンウィーク終了までは対前年比約47パーセントの増加がありました。現在、猛暑日等も影響し、少し落ち着いているところですが、それでも4月から7月末の間で対前年比約33.6パーセント、2千310人の増加がありました。

アウトレット効果については、徐々に現れてくるものと期待を込めておりますが、今後「酒々井コミュニティセンター」の活用や町ホームページにより積極的な情報発信に努め、町の活性化につなげていきたいと考えています。

開園日は43日間、入園者数は、8月上旬から中旬までの記録的な猛暑が続いたことなどから、昨年を上回る6万5千368人でした。

なお、開園期間中は大きな事故等もなく良好な運営が実施されました。

酒々井びっこ天国 夏季プール事業の運営について

開園日は43日間、入園者数は、8月上旬から中旬までの記録的な猛暑が続いたことなどから、昨年を上回る6万5千368人でした。

なお、開園期間中は大きな事故等もなく良好な運営が実施されました。

平成 24 年度 各会計決算の状況

(単位：千円)

区 分	平成 24 年度		平成 23 年度		
	歳入	歳出	歳入	歳出	
一 般 会 計	6,611,728	6,054,860	6,128,763	5,747,871	
国民健康保険特別会計	2,627,566	2,411,617	2,328,895	2,264,365	
下水道事業特別会計	596,745	581,706	479,985	478,076	
介護保険特別会計	988,087	933,319	958,052	932,060	
後期高齢者医療特別会計	152,451	151,518	140,142	139,356	
水道事業会計	収益的収入及び支出	473,996	365,681	485,313	380,286
	資本的収入及び支出	121,473	444,837	10,155	300,484

決算に関する2議案は、決算審査特別委員会に付託し、1議案が認定されました

◆平成24年度酒々井町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の不認定

◆平成24年度酒々井町水道事業会計決算の不認定  
9月定例会に上程された決算関係の2議案は、6名の委員で

構成する決算審査特別委員会に付託し、1議案が認定されました。

委員の構成

- ◎委員長 江澤 眞一
- ◎副委員長 平澤 昭敏
- 委員 金塚 昭敏
- 委員 那須 光雄
- 委員 竹尾 忠雄
- 委員 地福 美枝子

決算審査特別委員会

江澤 眞一 委員長 報告

3日間にわたり委員会を開催し、執行部からの詳細な説明をもとに厳正な審査を行ったところ、平成24年度一般会計及び各特別会計決算は不認定、平成24年度水道事業会計決算は認定すべきものと決定しました。  
なお、審査の過程において、今後の予算執行にあたり、次のような意見や要望事項がありました。

全般事項

○昨今、夏場の気温が高く、熱中症の危険が高まっている。そこで、熱中症の危険が高まった場合、防災行政無線を活用し、町民に対して注意喚起を図るなどの対策に努められたい。

一般会計

○各地区で管理している集会所等の修繕を行った場合、町から施設修繕補助金として30万円を限度に支給されている。現在、集会所等については、建築から

相当の年数が経過しているため、修繕費が高額になることから、各地区の負担軽減をされるよう努められたい。

○人権施策推進業務については、人権施策に限るのではなく、町民全体がサービスを受けることができる一般施策として推進できるように検証されたい。

○高齢者に対して実施している紙おむつ支給事業については、要介護認定1以上及び住民税非課税世帯といった支給要件があるが、これら支給要件は撤廃し、必要とされる方全員に支給されるよう努められたい。

○ふれ愛タクシーは平日17時までの間で運行されているが、交通弱者対策の充実を図るためにも時間延長や休日運行を検討されたい。

○小中学校の体育館については、各種団体に学校開放をされているが、使用料については徴収していない。公民館等の他の施設を利用する場合には、使用料を徴収しており、学校施設の利用に際しても使用料を徴収することを検討されたい。

○保育士の採用については、両保育園に勤務している嘱託員を正職員として採用することを検討されたい。



岩橋保育園

○一般家庭でハクビシン等による被害が発生している。捕獲するには専門業者に依頼しなければならないが、費用も高額となることから、経済的負担の軽減となるような措置を図られたい。

○町では公共的な施設や通学路での放射線量の測定は実施されているが、町内を流れる中川や江川などの河川での測定は行っていない。河川での汚染も危惧されることから、早急に実施されるよう強く望む。

○駅前を除草作業は限られた予算の範囲内で実施されているが、アウトレットの開業により町外から多くの方が来町されていることから、駅前の除草作業の回数を増やし、町の顔として相応しい環境づくりに努められたい。

○ちびっこ天国については、検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を検討していくとのことだが、子ども達や利用者などの意見も取り入れた中で検討していただきたい。

**水道事業会計・下水道事業特別会計**

○上下水道の配水管等については、古いものから順次布設替えをされているが、今後、耐用年数に達するものが多くなる状況にあることから、長寿命化を図るためにも計画的な布設替えに努められたい。

○上水道事業に携わる技術職員については、1名削減され2名であるが、緊急時における供給体制を考慮すると技術職員の増員を要望する。

**決算・賛成討論(要旨)**

佐藤修二議員

限られた予算の中で、各事業を順調に実施し、十分な成果を出していると思う。子育て支援の面では子ども医療費の新規分の助成や、放課後子ども教室での地域の人との交流、高齢者の福祉施策として特別養護老人ホームの施設の増築への助成、幼稚園・小中学校の施策としては小中学校へのエアコン設置、ALT派遣による幼稚園から中学生までの一貫した英語教育の実施への助成、安全・安心の面からは災害に備えて中央台公園の防災拠点としての整備工事が行われ、全体的には所期の目標を達成している予算の消化だと思ふ。



小中学校に太陽光発電を設置  
(写真は酒々井中学校)

平澤昭敏議員

子ども医療費の中学3年生までの拡大、家具転倒防止器具取得補助、救急医療情報キット配布、社会福祉施設補助事業、こたばの教室事業、小中学校へのエアコン設置、ALTの充実拡大、防災ラジオ整備事業等があり、厳しい経済状況の中、自主財源確保に向けての成果もあり、多様な住民ニーズにも応えていると思う。



防災ラジオ

越川廣司議員

大変厳しい状況の中で、地方財政の動向を考慮しながら自主財源の確保に努めるなど苦労した財政運営の痕跡がうかがえる。歳出においては極力削減に取り組みとともに、事業の投資効果及び緊急性に十分配慮し、財源の重点的、効率的な配分に努めながら、総合計画に基づき実施計画の目標達成における、

子どもから高齢者まで全ての人が生き生きと安心して暮らせるコンパクトシティ酒々井をめざし、取り組んだ事務事業の執行であったと思う。平成19年に地方公共団体の財政の健全化に関する法律が制定され、5つの健全化判断比率の指標が設けられたが、いずれも健全を示す比率となっている。

**決算・反対討論(要旨)**

地福美枝子議員

学校、図書館支援事業、スクーリングサポーター事業、学校教育支援の促進事業、エアコンの設置、子ども医療費では中学3年生まで入院無料や、通院の現物給付については評価する。

国の社会保障制度改革の内容をどう考えるか一般質問の中でも取り上げたが、すっきりしない、町民の立場に立っていない残念な回答である。国庫支出金をもとに戻すことで国保税の引き下げが可能になるが、町は国に要求しない。いろいろな点で国や県に要求しないことがたくさんあり、また、ほかの福祉分野で町長の根本的な調整への姿

勢を感じる。

また、これまでと同様繰越明許費があり、やむを得ないこともあるかと思うが、やはり当初より精査した事業計画が求められると思う。また、その事業について全容がなかなか見えず、説明がされないという点も気になる。



決算審査特別委員会

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	酒々井町景観基本条例の制定について	経済建設	原案可決	◎
2	酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
3	酒々井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
4	酒々井町文化財保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
5	平成24年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定	○
6	平成24年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定	◎
7	平成25年度酒々井町一般会計補正予算（第2号）	※	原案可決	◎
8	平成25年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	教育民生	原案可決	◎
9	平成25年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	経済建設	原案可決	◎
10	平成25年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第1号）	教育民生	原案可決	◎
11	平成25年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	教育民生	原案可決	◎
12	平成25年度酒々井町水道事業会計補正予算（第2号）	経済建設	原案可決	◎
13	工事請負契約の締結について	経済建設	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者	本会議の議決結果	
1	酒々井町のまちづくりに関する意見書の提出について	越川 廣司 議員 他5名	原案可決	◎
2	小坂泰久酒々井町長に対する問責決議の提出について	齊藤 博 議員 他3名	原案否決	×
3	来年4月からの消費税増税の実施中止を求める意見書の提出について	地福 美枝子 議員 他1名	原案否決	×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

平成25年度 補正予算額

（単位：千円）

会計名	補正前	9月補正額	補正後
一般会計	5,516,547	115,899	5,632,446
特別会計			
国民健康保険	2,488,499	33,005	2,521,504
下水道事業	403,686	13,818	417,504
介護保険	1,081,493	52,768	1,134,261
計 後期高齢者医療	162,947	933	163,880

平成25年度  
水道事業会計補正予算額

（単位：千円）

	補正前	9月補正額	補正後
収益的支出	460,097	▲6,139	453,958
資本的支出	358,235	31	358,266

町の考え

# そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

9月定例会の一般質問は、10日と11日の2日間に9名の議員が教育関連や南部開発関連など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。

問

国道296号「墨入口」交差点の改良要望を

答

千葉県に要望していく

金塚 学 議員

問 町民の利便性向上のためにも「墨入口」交差点の東酒々井側道路に右折レーンの設置要望を道路管理者にするべきと考えるが、町の考えを伺う。

町長 更なる南部地区の発展及び住民の利便性向上が図られると考えるので、今後、道路管理者である千葉県に要望していく。

教育内容の充実について

問 町は第5次総合計画において平成28年度までに、概ね県平均である「県標準学力検査平均点」（中学校5教科）を県平均以上とすることを目標にされているが、学力向上の為の工夫と進捗状況について伺う。

教育長 理科や英語科以外の教科は、県平均と同程度である。そこで、理科の授業では観察実験を多く取り入れるなど指導の工夫を行っている。英語科ではALT（外国語指導助手）と教員による読むことや書くことにも重点を置いた指導とともに、コミュニケーション能力の育成に努めている。

医療体制の充実について

問 町では成田市急病診療所や印旛市

郡小児初期救急診療所の運営のために負担金を支出し、夜間・休日の医療体制が確保され、町内に総合病院はないが医療圏という考え方からは、救命救急センター等は確保できているにもかかわらず町民には十分浸透していないと感じるが、PRは十分なのか伺う。

担当参事 三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）でも広報紙による啓発に努めているが、町としても様々なステージを活用して啓発に努めていく。

子育て支援の充実について

問 学童保育においても、通常の学童保育に在籍していない児童を預かる一時保育について拡充をさせるべきと考えるが、町の考えを伺う。

町長 児童福祉法等では、常時、学童保育を利用する児童を対象にしている。一時的な利用には、設備や職員体制、利用者負担の設定などの課題がある。また、「子ども子育て支援新制度」では、小学校3年生から6年生までの拡大などについて対応しなければならぬので、準備を進めていく中で、一時的な利用についても検討していきたい。

**問** 何に力点を置いて予算編成するのか

**答** 総合計画に沿った施策を着実に実行していくことが重要

平澤 昭敏 議員

**問** 厳しい財政状況の中、安全安心なまちづくり「コンパクトシティ酒々井」にどう予算を反映させ、何に力点を置いて予算編成するのか伺う。

**町長** 安全安心なまちづくり「コンパクトシティ」を進めていくためには、総合計画に掲げたまちづくりの基本理念に沿った施策を着実に実行していくことが重要であると考えているので、町民や議員からの提案等も念頭に置きながら進めていきたい。

**ミストシャワーについて**

**問** 暑さ対策、熱中症対策にもなり、経済的負担が少なく、どこでも使用できる、ミストシャワーを小中学校や保育園、公共施設等への設置を要望するが、町の考えを伺う。

**こども課長** 小中学校や保育園の室内での暑さ対策については、エアコン設置などに取り組んできた。ミストシャワーの設置については、設置場所の選定や使用時間などの課題があるが、家庭など屋外での暑さ対策として、教育や保育環境の充実を図るうえでの検討課題と考えている。

**災害時要援護者と避難所の整備、運営について**

**問** 災害時要援護者等のニーズに応えるため、避難所のバリアフリー化、相談窓口の設置等が必要と考えるが、避難所の整備や運営方法について伺う。併せて、備蓄品の整備状況についても伺う。

**担当参事** 災害発生時の要援護者の避難については、地域が支援して行うことを原則としている。まず、最寄りの避難所へ避難していただき、必要に応じて、福祉避難所等へ避難していただくこととしている。避難所の整備や運営方法については、要援護者の負担を軽減するため、避難生活者に配慮した整備等を行うとともに、備蓄品についても、避難生活者等に配慮した備蓄物資を選定する必要があると考えている。今後は、災害時要援護者の具体的な把握とともにニーズについて関係課との連絡調整を図り、避難体制の整備や必要な対策を進めていく。

**問** 3年間、町長の資産等報告書に「不動産所得」の記載がない理由は

**答** 確定申告に基づいて作成している

齊藤 博 議員

**問** 平成18年の資産等報告書には、事業所得、給与所得、不動産所得の3つの所得が記載されているが、翌年から3年間は「不動産所得」の記載がないが、その理由は何か。また、富里市にある資産については記載漏れなのか。

**町長** 「政治倫理確立のための酒々井町長の資産等の公開に関する条例」に基づき作成すべき「所得等報告書」については、毎年、確定申告を基に作成している。その中で、不動産所得についても、各年において確定申告に基づいて記載したものである。

**産業廃棄物中間処理施設について**

**問** (株)リサイクル先進センターには、リサイクルされた土が山のように堆積されており、粉じんの苦情等が出された。土が減らず、周辺住民は心配している。県に「設置届」が提出されたが、堆積場の面積、堆積量、期間、土質等について町は把握しているのか。また、土は町が管理する赤道に無許可で積み重ね、いまだに撤去されていない。不法の状態が分かってから既に3か月、なぜ速やかに命令できないのか。

**ファシリティーマネージメントについて**

**問** 役場庁舎の改修には設計で約1千万円、準備経費で約4千万円が既に予算化されているが、全体事業と町の負担額が明らかになっていない。順序が逆である。検討状況を伺う。  
**財政課長** 耐震補強工事等の費用は、概算で約1億5千万円である。補強工事の関係で、東庁舎の撤去が必要となるので、現在、代替え施設の検討を行っている状況である。



**問** 中央台公園工事はこれで完了したと言えるのか大いに疑問

**答** トイレのバリアフリー化の工事が1年ずれ込んだ

那須 光男 議員

**問** 1回目の質問で、①平成23・24年度の2年の年月をかけ、総額4千5百万円の歳費を投入して、中央台公園防災等再生工事が行われてきたが、その工事は完了したのか。②25年度に予定している工事計画の内容、以上2点について聞いたところ、まちづくり課長は、①工事は完了した。②災害時に対応できるトイレの改修工事を予定している」と答弁された。

再生工事は、24年度で終了したと答弁されたが、遊具の近辺は雨が降れば一面に水溜まりもできている。芝生には目地に目土を入れる作業をしていないため、でこぼこだらけの状態など、24年度末までに終わっていないならばならない面整備工事が完成されなかったその理由を伺う。

園路の整備工事も計画に入っていたが、遊具側からトイレに行く通路がないため、草の中を通らなければならぬが、その件についても伺う。

また、防災テント、防災備蓄倉庫設置の工事計画もあったが、どこに設置されたのか伺う。

まちづくり課長 トイレのバリアフリー化の工事が残ったことにより、完成が1年ずれ込んだ。

面的整備や排水工事は終わっていたが、4月に強い雨が降り、なかなか水はけが上手く機能しない部分があったため、追加工事で排水対策として、排水枘を設けて水が溜まらない処置を実施した。

芝生については、天候等により生育に影響もあると思うが、一部枯れた所もあるので、業者により補修を行った。遊具からトイレに向かう通路については、計画はしていないが、スペース的にに行けるようになってきている。

防災テントの設置位置については、ステージ脇にパーゴラが設置してあるの  
で、そこに防災テントを設置することになる。



防災拠点となる中央台公園

**問** 中川地区の治水対策のために調節池の整備が必要

**答** 議会の賛同が得られないため、進められない

江澤 眞一 議員

**問** 中川地区の治水対策について次の点を伺う。

① 災害時の町の体制（組織）は、どのようになされているのか。

② 災害時の避難場所はどこか。

③ 平成16年9月に発生した豪雨により床上浸水26棟、床下浸水25棟の被害があったが、近年、全国各地で当時よりも降水量が増加している。そこで調節池の整備を一日も早く行うべきと思うが、町長の考えを伺う。

④ 調節池に太陽光発電装置を整備している自治体があるが、検討すべきと思うが、町の考えを伺う。

**担当参事** ① 中川地区の治水対策における町の体制については、地域防災計画に基づき、浸水など局地的な被害が発生する恐れがあるときは、関係職員を配備し、被害状況等の収集及び伝達、関係機関への連絡とともに、警戒体制をとる。さらに中川地区周辺に大規模な被害が発生したときは、災害対策本部を設置するなど、災害に対する応急対策活動にあたる。

② 一時避難所として中川青年館、避難場所として酒々井小学校としている。

③ 中川の治水対策は喫緊の課題であり、調節池の必要性等を再三説明したが、議会の賛同が得られないため、現在は進められない状況にある。

④ 調節池に太陽光発電装置の設置を検討してはとの提案については、議員の皆様より「調節池はやはり必要」ということで、賛同が得られるならば、貴重な提案と考えている。

**県道富里酒々井線について**

**問** アウトレットのオープンにより、交通量が増加し、未整備部分が危険度を増していることから、県に事業のス

ピードアップを要望すべきと思うが、町の考えを伺う。また、古沢橋の歩道整備については、早急に行うべきと思うが、併せて町の考えを伺う。

**まちづくり課長** 平成24年度から国の交付金制度を活用するとともに、町が主体となって用地交渉に協力し、早期完成に努めている。なお、古沢橋の歩道整備については、早期実現に向けて県に要望していく。

② 一時避難所として中川青年館、避難場所として酒々井小学校としている。

③ 中川の治水対策は喫緊の課題であり、調節池の必要性等を再三説明したが、議会の賛同が得られないため、現在は進められない状況にある。

④ 調節池に太陽光発電装置の設置を検討してはとの提案については、議員の皆様より「調節池はやはり必要」ということで、賛同が得られるならば、貴重な提案と考えている。

**県道富里酒々井線について**

**問** アウトレットのオープンにより、交通量が増加し、未整備部分が危険度を増していることから、県に事業のス

ピードアップを要望すべきと思うが、町の考えを伺う。また、古沢橋の歩道整備については、早急に行うべきと思うが、併せて町の考えを伺う。

**まちづくり課長** 平成24年度から国の交付金制度を活用するとともに、町が主体となって用地交渉に協力し、早期完成に努めている。なお、古沢橋の歩道整備については、早期実現に向けて県に要望していく。

② 一時避難所として中川青年館、避難場所として酒々井小学校としている。

③ 中川の治水対策は喫緊の課題であり、調節池の必要性等を再三説明したが、議会の賛同が得られないため、現在は進められない状況にある。

④ 調節池に太陽光発電装置の設置を検討してはとの提案については、議員の皆様より「調節池はやはり必要」ということで、賛同が得られるならば、貴重な提案と考えている。

問 法人町民税で財政を安定化しよう

答 アウトレットからの法人町民税は約2千万円が見込まれる

川島 邦彦 議員

問 酒々井IC開通後の現状を検証し、今後の経済効果を高める観点で伺う。

①アウトレットの現状について、来客数、路線バスの利用状況、酒々井コミュニティセンターの利用状況を伺う。

②アウトレット以外の区画整理地域(10・7ha)の企業誘致には9社から引き合いがあるとのことだが、仮に9社と契約成立となれば地域内の空白地は解消するのか、交渉は地権者任せなのか、交渉の進捗はどのような段階にあるか伺う。

③IC周辺の開発規制緩和による流通業務系の企業誘致を計画していると認識するが、どのあたりのゾーンを計画しているのか、県等との規制緩和手続きは完了しているのか伺う。

④工業団地の利用価値は高まったと認識するが、遊休地利用の動きはあるか、町としても利用促進の対応をすべきと考えるが如何か。

⑤路線バス利用者の多くは町外者と捉え、町の顔にふさわしい駅周辺の整備を進めるべきではないか。

⑥法人町民税の増加で「税収の構造改革」を進め、財政の安定化を目指すべきである。

町長 ①酒々井プレミアムアウトレットには、開業から約4か月間で約265万人が訪れ、その内バス利用者は、約14万人と聞いている。酒々井コミュニティセンターには、4万1,751人が訪れ、町内の特産品等の問い合わせが数多くあった。

担当参事 ②用地登録制度により、企業と地権者が協議をしているので、町は関与していない。但し、この制度に登録していない地権者もいるので、空白地ができない訳ではない。

まちづくり課長 ③酒々井IC周辺5km以内等に規制緩和が図られることから、国道51号等の幹線道等沿道に物流業務施設の立地が図れるよう、県から指定を受け、規制緩和を図った。

担当参事 ④遊休地の有効活用を図るため、企業に活用を検討を申し入れしている。

まちづくり課長 ⑤ボランティアの協力を頂きながら、植栽等の整備を検討していききたい。

税務課長 ⑥アウトレットから、約2千万円を超える法人税が見込まれる。

問 犯罪防止のため、JR酒々井駅のロータリーに防犯カメラの設置を

答 必要性について検討していく

佐藤 修二 議員

問 ①近い将来に必ず起きるであろう大震災発生に備え、町では防災拠点として中央台公園の整備や防災マップの発行、防災会議の開催等、地震発生に備え、公助の面から真剣に取り組んでいるが、町内の一般住宅及び特定建築物、公共建築物の耐震化率を伺う。

②県警の発表する県内市町村の犯罪認知件数の統計数値で酒々井町の犯罪認知件数は増加傾向にあり、ワースト10以内で推移している。自転車の盗難が圧倒的に多いが、空き巣等の凶悪事件も増えている。また、JR酒々井駅周辺での不審者の出現やベンチでのたまり、騒音をまき散らすオートバイの乗り入れ等も見られる。更に6月にはJR酒々井駅を犯行の起点とし、東酒々井、中央台等で十数件の痴漢犯罪を繰り返した犯人が逮捕されたが、JR酒々井駅自由通路に設置された防犯カメラが犯人逮捕に役立っている。駅周辺を中心とする犯罪抑止を図るためにも、JR酒々井駅東酒々井側の東口及び中央台側の西口の両ロータリーを見渡せる防犯カメラ設置の検討をすべき



JR酒々井駅自由通路に設置されている防犯カメラ



役場庁舎

と思うが、町の見解を伺う。

町長 ①建築物の現況の耐震化率については、平成25年8月末時点で、戸建住宅約70パーセント、特定建築物約86パーセント、町が有する公共建築物約87パーセントとなっている。

②防犯カメラについては、今年の3月にJR酒々井駅の自由通路に設置した。JR酒々井駅の西口及び東口への防犯カメラの設置については、駅周辺での犯罪発生状況やご指摘の行為等の検証をし、犯罪防止のための防犯カメラの必要性について検討していく。

**問** 安倍政権による社会保障の負担増をどう考えているのか

**答** 町民に影響が及ばないよう努力する

地福 美枝子 議員

**問** 安倍政権の「社会保障制度改革国民会議」の今後のプログラムが閣議決定された。それには負担増と給付制限の内容もある。このことをどう思うか。

**町長** 全国町村会等と連携を図るなど、極力町民に影響が及ばないよう努力していく。

**生活保護基準引き下げについて**

**問** 生活保護基準が引き下げられたが、影響は生活保護受給者だけでなく、多方面にわたる。その内容と影響を伺う。

**担当参事** 基準額の見直しは一律ではなく、世帯構成、年齢等により異なる。当町の生活保護受給世帯133世帯のうち、94世帯は減額が見込まれる。

**町の検診について**

**問** ①肺がん健診のみ無料の理由は何か。他も無料にできないのか。無料にするための予算額はいくらか。

②乳児健診、妊婦検診では基本健診の無料内容が少ない。無料の範囲の充実をすべきではないか。

**担当参事** ①当町の自己負担額は近隣と比べても安価な状況にある。全て無料とした場合、約220万円の増額と

なる。

②母子保健全体の施策の中で検討していかねばならないと考えている。

**防災について**

**問** ①倒壊の恐れのあるブロック塀の調査をしたのか。また、撤去費用の一部助成をしようか。今ある制度で活用できる制度はあるのか。

②災害時の水確保のため、大室台小学校のプールに浄水器購入予定とあるが、他の学校には購入しないのか。

**まちづくり課長** ①通学路等の点検は行っているが、ブロック塀に限った調査は行っていない。撤去のみは助成対象にならないが、安全構造の塀等を設置する場合は、助成制度が受けられる。

**担当参事** ②状況を見ながら、検討していく。

**信号機と横断歩道の設置について**

**問** 再度の要望だが、国道51号線を渡るナリタヤからガストまでの間に横断歩道と信号の設置の検討を。

**担当参事** 安全対策から歩道橋が設置されている。利用していただくことが安全対策上一番いいと考えている。

**問** 八坂神社前の信号機設置に向けて協議は進んでいるのか

**答** 佐倉警察署が現地確認を行った。引き続き要望していく

竹尾 忠雄 議員

**問** 共産党町委員会が6月に実施した町民アンケートに寄せられた要望を基に次の点を伺う。

①中央保育園の駐車場は雨が降るとドロドロになってしまい、車の出入りが大変なので、改善の要望が寄せられた。駐車場の改善はなぜ出来ないのか。お母さん達が安心して送迎できるように舗装し、駐車場が回転できるようにすべきではないのか。

②「通学路をしっかりと整備してほしい」「アウトレットが出来たことにより交通量が増えているので、子供達が安全に通れる通学路を確保してほしい」と町民アンケートに寄せられた。県道宗吾・酒々井線の八坂神社前の押しボタン式信号機の設置について6月議会でも質問したが、警察等との協議は進んでいるのか伺う。

③平成22年度中学生模擬議会で生徒から「上郷地先の道が狭く、怖くて通れない」との訴えがあり、町長も危険箇所と認めた。昨年一部改善されたが、残りについてはいまだ解決していない。町長は現状について危険箇所と認識されていないのか。

**こども課長** ①駐車場には、定期的に砂を補充しているが、集中豪雨があたりすると、ぬかるみが出るので、対応を検討する。

**総務課長** ②八坂神社前の押しボタン式信号機の設置について、佐倉警察署による現地確認を行った結果、信号機の設置場所の用地確保が必要とのことであった。県道宗吾・酒々井線であり、道路管理者となる印旛土木事務所引き続き整備要望を行っている。



早期の信号機設置が望まれる八坂神社前

**町長** ③本年3月に道路用地内で拡幅整備したところである。現在、酒々井小学校の通学路になっている、岩橋保育園前の道路拡幅事業を進めており、まずはこの区間の完成に取り組んでいく。

# その他の質問

金塚 学 議員

・安心・安全に暮らすための対策について

平澤 昭敏 議員

・町長3期目への決意について

齊藤 博 議員

・都市マスタープランについて

・南部開発事業について

那須 光男 議員

・犯罪・公害の温床の「ヤード」について

・通学路の安全対策について

佐藤 修二 議員

・南部土地区画整理事業関連について

・アクセス道路関連について

・酒々井プレミアム・アウトレッツ

ト関連について

地福美枝子 議員

・国税の軽減について

竹尾 忠雄 議員

・役場庁舎耐震補強工事について

・公害になっている上岩橋天神原地区での事業について

平成25年10月臨時会で可決された議案は次のとおりです。

## 一般会計

◇一般会計補正予算(第3号)

補正の主な内容は、墨地先における印旛沼土地改良区高崎支区内の用水路改良工事に対する補助金、岩橋保育園前の町道02・006号線の交通安全対策事業費の増額です。

## 議案と議決結果(町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	平成25年度酒々井町一般会計補正予算(第3号)	なし	原案可決 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町長より1件の行政報告がありました。(要旨)

## 台風26号の被害状況等について

台風26号の被害状況について、中川流域のトケ崎地先では周辺からの雨水が低地に滞水

し、排水ポンプでは処理しきれない状況となり、床下浸水が14件発生しました。中川地域についても、周辺からの雨水が中川に排水しきれない状況となったことから、床上浸水が1件、床下浸水が6件発生しました。中川護岸の嵩上げにより川からの越水はありませんでしたが、周辺地域の住宅開発等により不浸透域が増大し、中川へ流入する雨水の量や流域面積の拡大等による流量の増加も被害要因となっているものと考えます。

また、京成橋梁から下流の県道宗吾酒々井線間では、中川が溢水しました。更に岩橋保育園付近では、中川が氾濫し周辺道路が冠水しましたが、これは中川の上流域からの流入によるもので、改めて調節池の必要性を感じたところです。

被害が甚大である床上浸水の被害の軽減方策についても、今後検討してまいります。高崎川については、町内の上流から下流まで広範囲の流域で氾濫し、水田の冠水による被害と本佐倉新堤地先で1世帯の床上浸水が発生しました。

その他、柏木地先のアパートが1件、上岩橋地先では1世帯の床上浸水が発生しました。

また、がけ崩れは、下岩橋で住宅の全壊が1件発生し、負傷者が1名出るなど大きな被害となりました。その他、町内で20件以上のがけ崩れが発生しました。

道路被害としては、道路冠水が町道印旛線をはじめ11カ所、倒竹木による通行障害が12カ所、道路の法面の崩落等が23カ所発生しました。

学校施設については、酒々井小学校の斜面が2カ所及び大室台小学校グラウンド前面の斜面が崩壊しました。酒々井中学校では木工室が雨漏りをしました。

下水道施設については、町内3カ所に設置している中継ポンプ場で高水位警報発令状況になり、雨水が污水管に入り込み、汚水が流れない状況になってしまった箇所がありました。また、伊篠調整池では法面の崩落が発生しました。

いずれも応急対策を実施しております。

今後、災害に強いまちづくり及び減災に繋がるまちづくりを推進していきますので、皆様のご協力をお願いするとともに、町民の皆様の一人心とりが常日頃から防災意識を持っていただくように周知に努めてまいります。

## 長野県坂城町議会を視察



町議会では、10月10日(木)、長野県坂城町議会を視察しました。  
坂城町では、議会改革への取り組みや議会活動の情報発信について、今後の酒々井町議会の運営に活かすために先進事例を学びました。坂城町議会柳澤議長や大森議会改革委員長からの詳しい説明の後、活発な意見交換が行われました。



説明を受ける当町議員



柳澤坂城町議会議長



大森議会改革等特別委員会委員長

中学生模擬議会を開催  
しました

10月29日(火)、酒々井中学校3年生の代表者16名の中学生議員による、第8回中学生模擬議会が開催されました。

普段町に対して思っていることや考えていることを中学生の視点から一般質問を行い、「酒々井町の再開発について」、「グラウンドの設備拡張について」など中学生議員の皆さんが日頃から、見て疑問に感じている、ま



さに実体験に基づく質問で、私たち大人がおおいに耳を傾け、参考としなければならぬ内容のものでした。

また、最後に中学生の皆さんが感謝の気持ちを込めて、合唱曲「リパブリック賛歌」を歌ってくださいました。限られた練習時間にもかかわらず、その素晴らしい歌声が議場に響き、酒々井中学校の合唱に取り組みの重みを感じられました。



中学生模擬議会議員名簿

議席番号	氏名	学年組
1	綾田 健吾 (あやた けんご)	3年1組
2	梅澤 郁美 (うめざわ いくみ)	3年1組
3	田中 朝陽 (たなか あさひ)	3年2組
4	今野 紗南 (こんの さな)	3年2組
5	大野 直樹 (おおの なおき)	3年3組
6	宮内 みなみ (みやうち みなみ)	3年3組
7	小野 雄希 (おの ゆうき)	3年4組
8	鈴木 茉央 (すずき まお)	3年4組
9	森田 咲 (もりた さき)	3年2組
10	坂倉 将吾 (さかくら しょうご)	3年3組
11	山岸 風馬 (やまぎし ふうま)	3年3組
12	柳澤 健斗 (やなぎざわ けんとう)	3年4組
13	駒田 裕介 (こまだ ゆうすけ)	3年2組
14	水嶋 友里 (みずしま ゆり)	3年4組
15	上田 夏鈴 (うえだ かりん)	3年4組
16	中 基 達也 (なかだ い たつや)	3年4組

\* 16番中基議員は議長

12月定例会のお知らせ

次の定例会は12月中旬に開会する予定となっております。会期の概要は、12月10日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。  
☎ 496・1171  
(内線251、252)